

《芽生え賞》

「未来を変える為に」

有田市立保田中学校 3年

諏訪^{すわ} みのり さん

現在、世界中で新型コロナウイルス感染症が大流行しています。日本の感染者数は、四万五千人、死者数は千五百人程です。このままだと感染者数は五万人程になり、死者も増えていくでしょう。誰しもが感染したくないと思っています。私は今日の感染者はゼロ人だった、と聞ける日は程遠いのではないかと思います。なぜなら、コロナウイルスに対しての危機感を持っている人が少ない事と、「自分は絶対かからない。」と知っている人が多いからです。私も和歌山県の感染者数が少ない時や、まだコロナウイルスが身近では無かった時、まだ大丈夫だろうと危機感を持っていませんでした。ですが私達の住む有田市でクラスターが発生した事や飲食店で感染者が出た、という事を聞いて少し怖く感じました。コロナウイルスとは肺炎でありかかると死にいたる可能性もあります。私は最近、動画で感染した人の過ごし方や、医療現場の様子
子を見ました。軽症の人の場合はホテルで過ごしています。毎朝検温し、廊下にあるご飯を取り食べる、という方式です。もちろん外には出られず一日中部屋の中、という状態が約二週間続きます。一方、重症者の場合、呼吸器のような物をつけ、ベッドに寝たきりの状態です。自分で呼吸が出来ない程苦しいのです。医療現場では、看護師さんや医師の命が必死に働いています。命に関わる大変な仕事ですが、命を救う為に今日も寝ずに働いてくれています。

私はニュースで藤井貴彦さんの言葉が心に残っています。「いつか今日の感染者はゼロでした、と全国で言えるように私達が私達の未来を変えるゴールデンウィークが始まっている。」と伝えてくれました。ひとりひとりの行動や判断により二週間後の未来が変わります。今の日本の社会に貢献出来る事は、不用不急の外出をひかえ、家で過ごす事だと思っています。

コロナウイルスにより学校行事が無くなった、会いたい人に会えなくなった、自由が無くなった、と思い腹立たしく思うかもしれません。ですが今は一日でも早い終息に向けて皆で協力して、楽しい未来にしていかなければなりません。コロナウイルスにより、今まであった当たり前が当たり前では無くなった事や今までどれだけ幸せに過ごしてきたか、気付ける機会になったと思います。自分の命、家族の命、友達の命を大切にする為にひとりひとりの気持ちの持ち方を変え、幸せな社会を取り戻す為に頑張らなければなりません。

今日もコロナウイルスに負けず、命を救う為に働いてくれる人がいる事を忘れず、その人達に感謝したいです。